

執筆者紹介

まちだ としひこ
町田 俊彦 本学名誉教授、本研究所研究参与

〈編集後記〉

No. 635 は、本学の名誉教授である、町田俊彦研究参与による労作「人口変動、所得・雇用、税収の3大都市圏・地方圏間格差と東京・大阪」を掲載する。本稿は、2000年以降を中心に高度成長期から現在までの時期を対象として、人口の変動、所得と雇用の状況、そして税収のあり方という3つの側面から、大都市圏と地方圏との間の格差、および「東京一極集中」の実態を分析する。本稿によれば、アベノミクスは、大企業を優遇し、富裕層への富の集中と格差の拡大を加速させる一方で、「地方」を重視する姿勢をみせながら、実際は地域間の「競争」・格差拡大を促すものである。数多くの統計資料を駆使し、さらにはヒアリングを含む実態調査を行うなど、多様な視点から安倍政権の「虚妄性」を明らかにすることを試みた力作であり、いままさに、参照されるべき、読まれるべき内容となっていると考える。本稿の主題が、アベノミクスの実際の姿、問題の諸相を克明に描き出し、鋭く批判する点にあることは疑いない。だが、それにとどまらず（それにもとづき）、「むすび」では、私たちが現在直面しているいくつかの問題に対する処方箋が示される。いまを生きる（より）多くの読者に、是非触れていただきたいと思う次第である。

なお、本年4月より編集のチーフを担当することになりました。いたらない点が多々あるかと思いますが、全力であたる所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(M)

2016年5月20日発行

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 村上俊介

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561
